

【目次】 P1…会長挨拶 P2…高校生1日リハ体験 P3…新会員紹介 P6…参加報告 P8…各局からのお知らせ
P10…いきいき山梨ねりんピック P11…病院・施設紹介、ふるさと紹介

会長挨拶

第1回 山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の開催にあたって

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史

平成26年12月6日・7日（土・日）、桃源文化会館において県内のリハビリテーション専門職団体である山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会と合同で山本伸一先生を大会長として学術大会を開催いたします。

初の試みとなる合同学術大会は「飛躍 ～やまなしのこれからのリハビリテーション～」をメインテーマに一般演題 51 演題とシンポジウム、大会長講演、教育講座が企画されております。

シンポジウム「これからのリハビリテーション」では、植松光俊先生（日本理学療法士協会 業務執行理事）、中村春基先生（日本作業療法士協会 会長）、深浦順一先生（日本言語聴覚士協会 会長）より、リハビリテーション専門職団体として、また各々の立場から“これからのリハビリテーションの在るべき姿”について提言をいただけるものと思います。豪華な顔ぶれによるシンポジウムは、非常に興味深い企画であり、必ず自らの臨床観を見つめ直す契機になるものと確信しております。

大会長講演の「やまなしのこれからのリハビリテーション」では、リハビリテーション専門職が連携を深め協働することで、県内の医療・福祉・介護・教育の向上に貢献でき、リハビリテーションの意義が社会に浸透していくために、我々が果たすべき役割について示唆を与えていただけるものと思います。

山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県言語聴覚士会が共通の意識・目的を持って今回の学術大会開催をはじめ、いくつかの事業を合同で展開できることは、これからの地方組織の在り方について「山梨モデル」として全国に発信できたと自負しております。これからもお互いに切磋琢磨して信頼と協調関係を持ち続け、より一層の親密な交流を通じて、リハビリテーションの発展に寄与できるよう努力していきます。

第1回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会が多くの会員の参加をいただき、活発な意見交換のもと盛大に開催されることを心からお願い申し上げます。138名の会員で構成される当会としては、準備段階からスケールの大きさに圧倒されましたが、必要数の実行委員等を選出し準備にあたる事が出来ました。職場や職種垣根を超え3土会の会員がコミュニケーションを図りながら学術大会の成功に向けて取り組んだこの1年間の活動は当会の財産となることでしょう。準備に当たられました運営委員および実行委員の皆様に対して、心より感謝申し上げます。



高校生 1 日リハビリテーション体験

山梨県では、8月19日に県内の医療機関39施設にて「高校生1日リハビリテーション体験」が行われました。将来の就職先としてリハビリ関係の仕事に関心を持つ、県内にある高校のうち21校131名が参加しました。各医療機関では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が講師となり、リハビリの現場を体験してもらおうと紹介しました。今回参加した高校生と携わった先生から感想をいただきました。

湯村温泉病院 又吉 梓

当院では4名の女子高生を迎えました。「言語聴覚士は聞いたことがない」という彼女たち。まずは私たちの仕事を改定版リーフレットで伝えました。今回の見学を快諾下さった失語症者の大・大・大好きなジャニーズの話題から好きなメンバーの名前などの課題を通して、失語症というものが少しは理解されたのではないのでしょうか。普段何気なく話していることばが障害された時の悔しさや思いが伝わった時の嬉しさなどを実際の患者様から感じてもらうことができ、言語聴覚士の必要性も知ってもらえたのではないかと思います。

駿台甲府高校3年 西久保 侑香さん

今回、リハビリテーションの見学をさせてもらい、どの職業にしても、人と関わることに変わりはなく、色んな人がいる中で、その人その人で接し方をかえたり、1人1人の患者さんのことを分かっていないとダメな職業だなと感じました。思い通りに体が動かなかったり、しゃべることができなくてイライラしてしまう人もいますので、そういう人の気持ちを理解しようとしてあげることが重要だと思いました。

私は言語聴覚士になりたいのですが、しゃべることや人の話をきく、コミュニケーションをとることや食べ物を食べることは人の生きがいだと思うので、それが色んな障害のせいで阻害されてしまった人に対して、私は今回の体験を通じて、よりそういった人たちのサポートができればいいなと思いました。

【当日の体験風景】



【過去の高校生1日リハビリ体験参加者の進学状況一覧】

年度	人数	PT	OT	ST	リハ体験参加中の進学者数
19	131	74	55	2	43/209
20	157	93	58	6	38/192
21	143	80	58	5	31/131
22	132	82	43	7	33/178
23	132	71	57	4	27/107
24	160	92	59	9	23/127
25	161	77	77	7	49/172

【山梨県社会保健部長寿課調べ】

平成 26 年度 新会員紹介



石和温泉病院 ^{い が ら し} 五十嵐 ^{まさゆき} 真之

出身校：臨床福祉専門学校。出身地：千葉。趣味：登山。特技：イラスト。山をこよなく愛する私が辿りついた山梨の地。毎月一山を目標に、目指すは山梨百名山全制覇！！人生の寄り道だって全部臨床に活かせるかも？謙虚な気持ちで丁寧に日々を重ねて、少しでも登っていきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

石和共立病院 ^{こんどう} 近藤 ^{ななみ} 七海

出身：東京都国立市。趣味・特技：映画(主に洋画)観賞、編み物。英語に限らず、外国語の響きに癒されます。アクリルたわしからマフラー、帽子などたくさん編んでしまい、収納に困っています。悩むこともたくさんありますが、先輩方に相談しながらひとつひとつ向き合い、日々成長できたらと思っています。よろしくをお願いいたします。



一宮温泉病院 ^{ちば} 千葉 ^{とある} 徹

本州最北端、青森県より来ました。山々に囲まれて暮らすというのは、海が身近だった私にとって非常に新鮮です。9月から一宮温泉病院で勤務しております。先輩方のご指導の元、日々臨床に勉強にと励んでおります。まだまだ慣れないことが多く、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、精一杯精進しますので、どうぞよろしくお願い致します。



春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 ^{おざわ} 小澤 ^か しず香

この山梨で農家の娘として、のびのびと生まれ育ちました。大好きな地で言語聴覚士として働かせていただけることに、日々喜びを感じております。これからも、先生方や患者様から多くのことを学び続け、人として、言語聴覚士として大きく成長できるよう精進いたします。今後とも、よろしくお願いいたします。



春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 ^{つばい} 坪井 ^{さき} 沙妃

静岡県浜松市出身です。趣味は旅行と卓球です。4月から社会人・言語聴覚士としての一步を踏み始めました。まだまだ至らないことが多くご迷惑をおかけしますが、先輩方・患者様から多くのことを学び、しっかり吸収し、成長していけるよう頑張ります。よろしくをお願いいたします。





春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 やまだ のりこ 山田 典子

静岡県磐田市出身で、地元のジュピロ磐田を応援しています。旅行と音楽を聴く事が好きです。社会人1年目、先輩の先生方には迷惑をかけてしまう事もたくさんあると思いますが、患者さんの気持ちを尊重し、言語聴覚士としてたくさんの経験を積んでいけるよう精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。

県立中央病院 なかじま たかひろ 中嶋 崇博

私は、回復期・老健（通所リハ・訪問リハ兼務）にて臨床経験を積み、この度4月より県立中央病院にて働く事となりました。当院は超急性期という事もあり、今までとは違った側面からの臨床業務に戸惑う場面もありましたが、より多く県民の依頼に応えられるよう日々業務の適正化に努めています。今後も積極的な急性期リハビリを展開し、県内外のリハビリを盛り上げていけるよう頑張りますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。



甲州リハビリテーション病院 いけだ いちのすけ 池田 一之亮

初めまして。コシヒカリで有名な新潟県から来ました。池田一之亮（いちのすけ）です。変わった名前とよく言われ、自分自身もあまり気に入っていなかったのですが、今は、患者さんにすぐに覚えてもらえるいい名前だと思っています。山梨県に来てから約半年が過ぎ、少しは生活に慣れてきましたが、言語聴覚士としては全くの未熟で日々学ぶことが多いです。一生懸命努力し、一人でも多くの患者さんを笑顔にできるように頑張ります。

甲州リハビリテーション病院 かんだ たすく 神田 侑

出身は「白虎隊」や「鶴ヶ城」で有名な福島県会津若松市です。多少訛っていることがあり、標準語を勉強中です。山梨県という新しい土地で、慣れないことが多いですが、これから多くの事を一生懸命学びたいと思います。まだまだ知識・技術共に未熟ですが、どうぞ宜しくお願いします。



甲州リハビリテーション病院 こうの たえみ 高野 妙美

出身は埼玉県草加市、出身校は東京医薬専門学校です。入職して、あっという間に半年が過ぎました。まだまだ慣れないことが多く、日々勉強、反省の毎日ですが、先輩方の暖かいご指導と患者様の笑顔に支えられ、充実した毎日を送っています。目的を持って行動することを忘れず、言語聴覚士として、社会人として成長できるよう日々精進して参ります。

甲州リハビリテーション病院 のむら ゆり 野村 友里

出身地は山梨県の市川三郷町です。東京の養成校へ通い、念願の言語聴覚士として山梨に戻ってきました。入職して半年が経ちますが、まだ慣れないことも多く先輩方や患者様から様々なことを学ぶ毎日です。自分のため、患者様のために、日々成長していきたいと思っております。今後も多くの事を学び、吸収していきたいと思っておりますので、皆様からのご指導宜しくお願い致します。



甲府共立病院 ^{てづか ひとみ} 手塚 仁美

甲府共立病院の手塚仁美と申します。出身は山梨県です。元々は県内の大学で日本の上代文学を学んでいましたが、姉妹がリハビリを学んでいたことに影響を受け、言語聴覚士の道へ進みました。私は自然のある場所が好きで、生まれ育った山梨の風土や県民性が好きであったので、故郷で地元の方のために働きたいと考えていました。これから山梨県の言語聴覚士として働くことができ嬉しく思います。どうぞよろしくお願い致します。



甲府共立診療所 ^{あまの えり} 天野 絵里



出身は、群馬県高崎市です。小児リハビリに携わりたいと思い、縁あって山梨県に来ました。群馬も暑さと風の強さで有名ですが、甲府の暑さと朝晩の寒暖の差が身にしみています。もう仕事を始めて 6 ヶ月になりますが、まだまだ知識不足や自分の未熟さを痛感しています。これからも、先輩方、患者さんから多く事を学び、臨床に活かしていけるように頑張りたいと思います。

甲府共立診療所 ^{いしやま ななえ} 石山 奈苗

始めまして。ふなっしーの有名な千葉県船橋市から来ました、石山奈苗です。小児の言語聴覚士として働きたく、山梨に来ました。何事にもコミュニケーションの力が必要であると毎日感じながら、日々一生懸命、先輩、お子さん、お子さんのお母さんから学ばせていただいております。これからお子さんやお子さんのお母さんのために活躍できる言語聴覚士になりたいです。これからよろしく願いいたします。



しもべ病院 ^{いのうえ ひとし} 井上 仁



出身は市川三郷町。念願であった言語聴覚士になり、日々奮闘の毎日です。高齢化社会の現在、摂食・嚥下障害や失語症など、患者様によって訓練プログラムを計画することは大変なことだと実感しております。新人でひとり職場のため、困った時に相談することが出来ないこともありますが、「一生勉強」で邁進する気持ちでいます。県士会の皆様からいろいろ勉強させていただきます。宜しく願い致します。

ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院 ^{かとう ちさと} 加藤 千里

こんにちは。これまで静岡県御殿場市の病院や老健に勤務していましたが、今回異動となり、都留市にやってきました。現在、当院のほか、併設の通所リハビリテーションそよかぜ、富士河口湖町にある介護老人保健施設はまなすでリハビリを行っています。一人でも多くの患者様、利用者様にコミュニケーションや食べることの楽しみを感じていただけるよう努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



山梨厚生病院 ^{やまもと ゆうた} 山本 雄太



出身は山梨県甲府市、出身校は岐阜県にありますサンビレッジ国際福祉専門学校です。言語聴覚士をめざし早 10 年が経ち、やっと今年言語聴覚士として働くことができました。まだまだ分からないことだらけですが 1 日 1 日成長できるようにしていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

学会・研修会 参加報告

日本語聴覚学会 発表報告

甲府城南病院 平田 暢子

去る6月28日、埼玉県の大宮ソニックシティホールで行われた第15回日本語聴覚学会で、プロソディー障害に対する訓練について発表しました。発表直前まで原稿の修正や予演会を何度も行いました。そして、発表当日は、初めての発表の舞台がソニックシティホールの大ホール、大勢の聴衆の前ということで、大変緊張し、その上、機材トラブルにも襲われ本当に大変でした。また、質疑応答では、要点を上手くまとめて伝えられず、今振りかえってみても反省点ばかりです。しかし、「百聞は一験にしかず」のことは通り、実際に発表してみて、「何を伝えたいのか明確にして、それを的確に伝える」ことの難しさと大切さを学ぶ事が出来ました。今回の反省点と学びを踏まえて、次回につなげられたら、と思っています。

尚、発表内容は、学会抄録 No. 1-01-01 に掲載されていますので、ご意見・アドバイス等、お待ちしております。

第15回日本語聴覚学会に参加して

竜王リハビリテーション病院 石川 明日香

平成26年6月28日～29日、大宮ソニックシティで行われた「第15回日本語聴覚学会」に参加させていただきました。

今回は、「言語聴覚士とはなにか～あるべき姿を再考する」という大会テーマをテーマに約350題以上の講演がありました。

今回、初めて学会に参加させていただき、会場の広さと人の多さに初めは圧倒されました。しかし、多くの先輩の言語聴覚士や様々な専門職の方々のお話や熱い討論に感銘を受け、患者様がより良い生活へつなげていける可能性の大きさを感じました。また、「言語聴覚士はコミュニケーションを専門として扱う唯一の職種」という言葉が心に残っています。今後はその言葉を忘れず、日々自分自身の知識、人間性、スキルの向上を図り、患者様と向き合い取り組んでいきたいと強く感じました。

第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会

石和温泉病院 山田 萌

平成26年9月5日（金）～9月7日（日）に東京都の京王プラザホテル（他2か所）にて開催されました。20周年記念として国際摂食嚥下シンポジウムも行われました。今回摂食嚥下リハビリテーション学会に参加させて頂き、多くのことを学びました。7日に行われたシンポジウム「『口から食べる幸せ』をサポートできる高齢社会への挑戦」では、5人の諸先生方（医師、歯科医師、摂食嚥下認定看護師、ケアマネージャー）が、ご自身の立場や経験・活動内容等をお話してくださいました。そこで患者様主体ではなく、医療従事者主体の考え方のため「とりあえず絶食」という現状があり、医療従事者であるがゆえに陥りやすい考え方や行動がある事を知りました。私自身も患者様の気持ちに気づき、寄り添う事が出来ていたのか考える良い機会になりました。今後は学会で学んだ事、感じた事を日々の臨床に生かしていきたいと思いました。

第1回学術部 講演会

甲州リハビリテーション病院 川島 正史

今回の講演会では、視覚コミュニケーションとカニューレについて知ることが多い機会になりました。特に視覚コミュニケーションについては私自身の担当患者様で使用した機会がなく、あまり学ぶ機会もなかったため、初めて知ることが多くありました。その中で文字入力画面の種類や注視、押しボタンなど入力決定の仕方など設定が色々でき、患者様に合わせられることを知りました。



コミュニケーションを専門に扱う職種として、このような手段があることを知っておくことで他職種や患者様に情報を提供し、コミュニケーションのきっかけを作ることができるようにしておくことが大切だと思いました。カニューレについては気管切開の患者様を担当していたため、再確認することができました。様々な種類のカニューレを実際に見たり、シリコンで作られた喉頭のモデルをみることができ、患者様や家族にカニューレについて聞かれた際の説明に役に立つ内容でした。

◇ ◇ ◇ 各局からのお知らせ ◇ ◇ ◇

事務局 《局長》 河西 祐子 (春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

<総務部>

- ・一般社団法人設立以降、理事会を毎月第3金曜日に開催しています。県士会役員に書記2名のほぼ全員が毎回出席し、情報の共有を図りながら、充実した県士会活動が展開できるよう努めています。
- ・これまでに開催された講演会DVD の貸出しを行っています。DVD リスト・貸出し規約は、ホームページに掲載してありますので、貸出しを希望される方は、総務部までご連絡下さい。



<財務部>

- ・本年度の会費は、殆どすべての方に納入していただきました。ご協力、ありがとうございました。

社会局 《局長》 赤池 三紀子 (湯村温泉病院)

<職能部>

- ・社会局主催研修会を9月26日(金)大木記念ホールにて、内山県士会長の講師で開催しました。
- ・第8回がんフォーラムが10月5日(日)県立図書館にて開催され、言語聴覚士ができる内容をリーフレットや展示物でお伝えし、ブース展開に協力しました。
- ・今年度の福島復興支援事業が決定しました。
今年度は福島県言語聴覚士会からの要請にお応えし、言語聴覚士として「福島県失語症者のつどい：10月25日(土)」とその後の懇親会に参加協力することになりました。今回は日帰りという弾丸スケジュールですが、被災地の見学もしながら、昨年からの復興に期待しています。
- ・一般社団法人山梨県民間病院協会 PT・OT・ST 部会研修会を11月13日(日)スコレーセンターで開催する予定です。

<地域部>

- ・「こどものことばの相談会」を11月30日(日)午前10時～午後3時まで善誘館小学校 ことばの教室にて実施します。
- ・「第19回山梨県失語症者のつどい」が甲府市南公民館にて開催されます。
日時は、11月16日(日)午前10時30分開会の予定です。言語聴覚士のボランティアを募っていますので、多くの方のご協力をお願い申し上げます。

学術局 《局長》 中村 晴江 (甲府城南病院)

- ・平成26年度前期の学術局主催の講演会・研修会は多くの会員皆様のご参加をいただき、盛会のうちに終了しました。後期もより充実した生涯学習プログラムを提供できますよう部員一同頑張りますので、皆様のご協力・ご参加をお願いいたします。

<学術部>

- ・講演会・生涯学習基礎講座・講習会等を通じて、会員の生涯学習のサポートを行います。今年度も各領域の専門家による講演会を予定しています。

《学術講演会予定》

第2回 学術講演会 平成26年11月19日(水)

テーマ:「認知症」(仮) 講師:上野 武彦先生(笛吹脳神経外科内科 院長)

第3回 学術講演会 平成27年2月5日(木)

テーマ:小児領域関連(仮) 講師:玉井 邦夫先生

(大正大学 人間学部臨床心理学科 教授)

<研修部>

①症例検討会

偶数月第3木曜日に開催を予定しています。今年度はグループディスカッションに加え、毎回ミニレクチャーを行います。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

《症例検討会予定》

第5回症例検討会 平成26年12月18日(木)

発表予定者:鈴木 千裕先生(石和共立病院)

第6回症例検討会 平成27年2月19日(木)

発表予定者:鈴木 昌也先生(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

②小児領域勉強会

奇数月第2土曜日に甲府共立診療所で開催を予定しています。現職の小児担当者だけでなく、成人領域で働く会員の参加も増えています。小児領域の臨床に興味のある方は、是非ご参加ください。

<教育部>

・新卒者を対象に臨床基礎知識・技術などの基礎研修を企画しています。本年度は6回シリーズで行います。

《研修予定》

・第5回 新卒者研修会 平成26年11月12日(水)

テーマ:「認知症サポーター養成講座」 内山 量史会長(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

赤池 三紀子副会長(湯村温泉病院)

河西 祐子事務局長(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

広報局 《局長》 武井 徳子 (甲州リハビリテーション病院)

<会報編集部>

第30号 平成26年11月発行、第31号 平成27年2月発行予定

<ホームページ管理部>

・第1回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の公式HPが完成しました。MENU学術大会よりご覧いただけます。ご活用下さい。

<広報部>

・いきいき山梨ねんりんピック2014、がんフォーラムに参加しました。ご協力頂きました会員の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

・キャッチコピー入りボールペンが完成し、会員の皆さんにも近々配布予定です。また、広報グッズとして『のぼり』と『パネル』を作成しました(ホームページに写真をアップしてあります)。貸出可能ですので、広報部部長赤池(山梨大学)にお問い合わせ下さい。

いきいき山梨ねんりんピック 2014 参加報告

山梨大学医学部附属病院 赤池 洋

平成 26 年 9 月 27 日（土）、甲府・小瀬スポーツ公園でいきいき山梨ねんりんピック 2014 が開催されました。当日は、例年通り晴天に恵まれ、高齢者を中心に子供から大人まで多くの方が参加・来場されました。今年度からは 3 土会合同開催となり、各専門職の啓発活動に加え「リハビリテーション」の理解を深めて頂くことを念頭に準備してきました。

理学療法士会では体力測定や身体機能評価を、作業療法士会では大豆移しなどの作業活動や福祉用具の体験を行い啓発活動に努めていました。山梨県言語聴覚士会では今年度よりパンフレットやパネル、ボールペンのリニューアル、そして新しくのぼりを作成し、新生「山梨県言語聴覚士会」として啓発活動に努めてきました。参加された当会員からは「パンフレットやパネルを用いることで説明しやすく、理解が得られやすかった」と感想が聞かれました。また、例年通り仮名ひろいテストも実施し、体験者からは「毎年体験している。来年もまた挑戦したい。」との声も聞かれ、毎年興味を持たれて参加される方が見受けられました。

今回、ねんりんピック前日には社会局研修会が開催され、内山会長による「地域包括ケアシステムにおいて期待されるリハビリテーション専門職の役割と課題」の講演を拝聴させて頂きました。ねんりんピックでは講演で得た情報が、来場者の対応の際に活用でき、理解を深めて頂くことができました。質問内容は「地域包括ケアシステム」や「介護予防」、「ニコニコ長生きやまなし体操」、「ことばの発達」などが聞かれました。

3 土会合同開催となった今年度は職域を超えて他職種の方々と活動ができたことで、各職種の役割が理解でき、交流も深めることが出来たと思います。来年の 3 土会合同開催においても引き続き充実した広報活動に励んでいきたいと思っています。



施設紹介

介護老人保健施設 勝沼ナーシングセンター

坂井 李菜

当施設はブドウ畑に囲まれたとてもどかな場所にある介護老人保健施設です。春日居サイバーナイフ・リハビリ病院グループの一つであり、グループホーム「アゼリア」とショートステイ「サージ」が併設されています。リハビリテーション部は現在、理学療法士 3 名、作業療法士 2 名、言語聴覚士 1 名で入所リハビリと通所リハビリを行っています。認知症や廃用症候群などの疾患を



有している方も多く、その方の生きがいや目標に合わせたリハビリを行っています。また摂食嚥下障害においても、出来る限り利用者様の望まれる経口摂取を安全に行えるよう、看護師や介護士、リハスタッフ、また管理栄養士と相談しながらチームで関わっています。言語聴覚士は今年度 4 月から在籍となり、まだまだ認知度の低さや今後の生活を見据えたリハビリに試行錯誤しておりますが、施設内で言語聴覚士としての役割を果たしながら、今後は地域にも貢献できるよう励んでいきたいと思ひます。

ふるさと紹介

山梨リハビリテーション病院 中根 千晶

埼玉は全国で一番市が多く、それぞれに特色があります。私の出身、さいたま市は、浦和レッズと大宮アルディージャが全国的に知られていますが、下記にご紹介する博物館も魅力的です。興味を持っていただけましたら、ぜひさいたま市においでください。

■鉄道博物館■鉄道の歴史や資料を紹介する博物館です。家族連れにも大人気で、休日は混雑します。「運転シュミレータ」「ミニ運転列車」といった体験型アトラクションや、「ヒストリーゾーン」の車両展示が人気です。写真中央の蒸気機関車はターンテーブルで回転し、周囲の展示車両には乗り込むこともできます。(写真提供 鉄道博物館)



■盆栽美術館■昔から、各戸盆栽を 10 鉢以上持つこと、等の決まり事を作っていた「盆栽村(町)」という地域があり、そこに近接して開設された美術館です。美術館自体は小規模ですが、室内のギャラリーや屋外の庭園でじっくりと盆栽を観賞できます。2017 年には「第 8 回世界盆栽大会」がさいたまスーパーアリーナで開催される予定です。

秋も深まってきた今日この頃、みなさんいかがお過ごしでしょうか？今号の県士会ニュースには新人紹介と高校生の1日リハビリ体験を掲載しております。高校時代に進路で悩んだ方も多いと思います。私も悩んだ思い出がありますが、そのような時期に実際の現場を体験できた事は学生にとって、言語聴覚士という仕事を知る良い機会になったのではないのでしょうか。私が勤めている石和温泉病院では4月から1人の新人を迎えました。最初は緊張した面持ちでしたが、約半年経ちその様子も和らぎ1人の言語聴覚士として臨床に勉強に頑張っています。私も後に続く後輩達に言語聴覚士という職業に希望を持ってもらえるよう、気を引き締めて仕事に向かい合いたいと思います。(会報編集部 坂井隆一)

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

<発行人> 内 山 量 史

<編 集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集部

石 和 温 泉 病 院	坂 井 隆 一
石 和 共 立 病 院	鈴 木 千 裕
一 宮 温 泉 病 院	杉 山 達 也・倉 島 雪 乃
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院	鈴 木 晶 也
甲州リハビリテーション病院	武 井 徳 子・堀 込 直 実
甲 府 城 南 病 院	廣 瀬 由 紀・平 田 暢 子
白 根 徳 州 会 病 院	植 田 菜 月
山梨リハビリテーション病院	中 根 千 晶
湯 村 温 泉 病 院	千 田 亜 也 子

<事務局>春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内

〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府 436

TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366

<発行日>2014年11月1日 第30刊